

第107回講習会 科学英語によるプレゼンテーションの実践

”第106回講習会 科学英語の書き方とプレゼンテーション”の中級編

共催：精密工学会東海支部

協賛：自動車技術会中部支部，計測自動制御学会中部支部，日本塑性加工学会東海支部，日本設計工学会東海支部，自動車技術会中部支部，(財)名古屋市工業技術振興協会，愛知工研協会

開催日時：2008年10月10日(金) 13:00～17:15

会場：名古屋大学シンポジオンホール

趣旨

情報化・国際化が進む現在、グローバルな技術競争が進展している企業環境の中では、英語によるコミュニケーションの機会が増えており、技術者にとって科学英語の表現能力向上がますます必要となっています。2003年より開催している英語による文書作成およびプレゼンテーション能力のレベルアップを目指した講習会は毎回大変な好評を頂いており、参加者の皆様からも、さらなるレベルアップの場を求める声が多数寄せられていました。そこで、今年度より科学英語による実践的なプレゼンテーション力の向上および英文メールによるコミュニケーション力の向上にも重点を置いた内容で新たに講習会を開催することに致しました。

幅広い分野からのご参加をお待ちしております。

内容

13:00～13:10 (開会の挨拶)

13:10～14:20 **講演スライドの作り方**

講演で用いるもっとも効果的なスライドの作り方を説明します。講演スライドは1枚1分以内で図面と式と文章を読んで理解しなければなりません。また、わからないとき、前のスライドを取り出して読むわけにはいきません。これは、時間が十分ある論文との違いです。最近の講演例を見てみるとこれに対する配慮がまったくなされていないものがあります。また、スライドの中に書く簡潔な英文にも、正しい短縮の仕方があります。これらについて解説します。

遠藤 守 中京大学講師 (情報工学) 学術博士 (名古屋大学)

14:30～15:40 **科学講演における効果的な英文表現**

最初に、なぜ講演はものがたりを語ることに似ているのかについて説明します。つぎに、英語で効果的な科学技術の講演を行うために役に立つように、実際の表現をストーリー的に紹介します。(今年7月に行われた)講演者の先の講義では、講演に臨むときの「心構え」を中心にして解説しました。本講義では、より実用的なことに焦点をあてて講演します。

Title / Outline/Modeling /Theory/ Theoretical results/ Experimental Setup/Experimental

results/ Conclusions/Acknowledgement と進むスライドを用いて、適切で役に立つ、様々な表現を紹介します。聴講者が初めて国際会議で講演するとき、これにしたがって中身を自分用に置き換えていけば、最低限の英語表現が完成できるようなサンプル例の紹介です。
エドワード・ヘイグ 名古屋大学准教授（英文学）Ph.D. (London Univ.)

16:00～17:10 Emailによる効果的なコミュニケーション

Emailにより通信するときの注意点を紹介します。論文を投稿し、あるいは学会など行事に参加しようとするとき、Emailによるやりとりを行います。論文と講演スライドとの違いと同様、郵送文書とEmailにも大きな違いがあります。今日、多くの人はEmailを交わし、忙しいひとは毎日、何百通と受け取っていますので、これも時間との勝負で、余分なことを書くとは相手に迷惑です。簡潔さ、単純さが最重要ですが、そこにはそれなりのルール、エチケットと、効果的な書き方があります。理系の学生、技術者が最低限知っておくべき内容を簡単にまとめます。

スティーヴン・E・クアシャ 椋山女学園大学講師（英文学）

17:10～17:15（閉会の挨拶）

注記）2人の外国人講師は英語で講演されますが、日本語もある程度理解できますので、質問は日本語で可能です。

申込締切日：2008年9月30日（火）

定員：100名

参加費 会員5,000円（学生員2,500円）、会員外8,000円（一般学生4,000円）・・・（教材費込み）

申込み方法 東海支部ホームページ (<http://www.jsme.or.jp/tk/>) からお申し込みください。詳細はホームページをご覧ください。

また、FAXにてお申し込みいただく場合は「東海支部107回講習会申込み」と題記し、(1)氏名、所属学会、会員資格、(2)参加券送付先（勤務先か住所を明記）、(3)勤務先名称、所属部課名、所在地、電話番号およびFAX番号、(4)補助資料送付先E-mailアドレス（補助資料を貼付ファイルでお送りする場合に使用しますので、携帯電話メールアドレスでのご登録はお控え下さい）。

※参加費は当日お支払いいただきます。

申込み先 日本機械学会東海支部 〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学工学部機械工学教室内

電話&FAX (052) 789-4494

FAX : 052-789-4494

E-mail : tokaim@nuem.nagoya-u.ac.jp

ご注意 参加決定者には後日参加券をお送りしますので、当日必ずご持参ください。